

⑤2024年問題への取組みについて

	北海道西濃	神奈川西濃	三河西濃	関東運輸	ココネット
新たに取組みした内容(テーマ)	<p>【長距離・長時間を要する輸送の改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> 協力会社運行による道内運行の特に長時間を要する道東・道北便の調整。13時間を超えると予想される2ルートの前日の仕事内容、及び出発前・業務終了後の休憩時間を踏まえ検証。2ルート共トレーラー運行の為、中間店所にてトッキングし、トラクター切り替え運行に調整中 	<p>【路線便の時間管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> 13時間、15時間、休息9時間 ローター便の出勤時間の調整 13時間オーバーが危惧されるコースについては、積載店所の見直しを行う 	<p>【残業時間の管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全衛生委員会による時間管理 <p>【求人と定着】</p> <ul style="list-style-type: none"> Indeedによる求人の掲載とHP作成の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 定着状況、残業時間を示した拠点別一覧表を主要会議で公表し、他拠点の動向等を把握し、全体で時間短縮に努めた 乗務職の給与体系の見直しに着手 一部お客様で、待機時間を削減するため、携帯電話を使用した到着時間の共有を行なう 	<ul style="list-style-type: none"> 置き配、ポストインサービス(DM、エコポス、ポストイン等)により、再配達率の軽減 ポストインサービスにおける、地域密着型配達員のシニア採用を強化(60才～75才をターゲットとし活動)
効果・実績について	<ul style="list-style-type: none"> 今までと変わらない輸送品質をお客様に提供し、拘束時間も短縮可能 物量に応じた車種に変更して便数の削減、積載効率の改善に寄与 	<ul style="list-style-type: none"> 出勤時間の調整により時間オーバーは無し 6コースを回しにより時間の偏りを防止 	<ul style="list-style-type: none"> 12月時間管理は目標対して98%の達成 12月SDの退職者がでる。求人の結果、夜勤者は2名採用、SDは無い 	<ul style="list-style-type: none"> 公表はしたものの大きな削減効果は見られなかった。11月中旬から大口荷主の変動があり、これを契機に運行便の見直しを図っている 人的生産性の向上を目指した合理的な施策として構築を進めることができた。運行便のタイムリーな見直し、決められた時間内に収まるような運行に切り替えられるよう、乗務職の協力を得られるような体系を目指す 到着時間の共有を行なう事で、休憩時間等、有効に時間を使うことができた 	<ul style="list-style-type: none"> 置き配にて、再配達率2.8%(業界平均11.6%) 現在働いているシニア配達員へのインタビュー結果及び、シニアマーケティングコンサルからのアドバイスを参考に、4月より「シニア特化型採用」活動を実施(生きがいとして働いている方が多く、仕事としての認知度向上に取り組む)